

緊急事態と相談窓口

緊急通報用電話番号

相談窓口

緊急通報用電話番号

緊急通報用電話番号は、24時間、電話を受け付けています。3桁の緊急番号はフリーダイヤルです。その他の番号は、通常、通話料がかかります。

総合緊急通報：112

この番号に電話をかけると、警察の緊急通報センターにつながります。担当官が通報の内容から、該当局に情報を伝えます（消防署など）。

警察：117

警察の緊急通報センターにつながります。

消防署：118

消防指令センターへつながります。

緊急処置・救急車：144

救急指令センターへつながります。

144番の利用は、即急に対応が必要な場合、救急車が必要な場合、または、状況の判断ができない場合（事故に遭ったなど）のみに限ります。

これ以外の問題は、まず、かかりつけ医に連絡してください。かかりつけ医が開院していない時間帯では、命にかかわる状況でなければ常時、医療救急センター **Medizinische Notrufzentrale, MNZ**（Medizinische Notrufzentrale, MNZ）に連絡できます。電話番号は061 261 15 15です。同センターでは、医療処置に関する相談や、該当する最寄りの窓口（医師や病院など）の連絡先の情報を提供しています。患者が直接、救急窓口（病院または救急センター）を訪れることもできます。

救急薬局：061 263 75 75

この番号にかけると **Basel-Stadt, Basel-Stadt救急薬局 Notfallapotheke**（Notfallapotheke）につながります。救急薬局はPetersgraben 3にあり、夜間や週末も営業しているため、救急の場合でも医薬品を購入できます。

救急歯科：061 261 15 15

歯に関わる問題が発生したら、すぐにかかりつけの歯科医に電話しましょう。開院していない時間帯は、医療救急センター **MNZ 061 261 15 15**（MNZ 061 261 15 15）061 261 15 15に連絡してください **Basel-Stadt, Basel-Stadt**州で救急治療をしている歯科医を教えてください。

毒物救急番号：145

毒物を飲んでしまった、または、その可能性がある場合は、こちらの番号で、医師および専門家が対応し、処置方法を説明します。命に関わるような症状の場合は、すぐに144番に通報してください。Tox Info。Tox Info のウェブサイトには毒物および毒物中毒についての幅広い情報が掲載されています。

相談窓口（大人専用）：143

「143番」（支援センター Dargebotene Hand）は、誰かに悩みを打ち明けてほしい人のための窓口です（ドイツ語、フランス語、イタリア語、英語で対応）。危機的な状況に陥っている場合だけでなく、難しい状況にあたり、不安なことがある場合など、さまざまな悩みに応じます。会話は秘密厳守、匿名でおこないます。希望があれば、援助を受けられる該当の施設やサービスの情報も提供しています。メールやチャットでの相談も可能です。

相談窓口（子ども・青少年専用）：147

「147番」は、誰かに悩みを打ち明けてほしい子ども、青少年のための窓口です（ドイツ語、フランス語、イタリア語で対応）。危機的な状況に陥っている場合だけでなく、難しい状況にあたり、不安なことがある場合など、さまざまな悩みに、24時間、専門家が対応します。会話は秘密厳守、匿名でおこないます。通話は無料で、電話料金の請求書にも記載されません。メール、SMS、チャットでの相談も可能です。

子育て緊急相談室：0848 35 45 55

子育て緊急ダイヤル Elternotruf（Elternotruf）では、親や関係者の子育てに関する相談に専門家が応じます。子育てに耐えられなくなったり、子育てを重荷に感じる、または、自分の子や他者の子の心配があるときは、相談してください。自分の子または他者の子が精神的・身体的虐待の被害者であると懸念されるときも、こちらの番号に連絡してください。会話は秘密厳守、希望があれば匿名でおこないます。メールでの相談も可能です。子育て緊急相談室では医療に関する質問には応じることができません。

家庭内暴力（女性専用）：061 681 66 33

両バーゼル準州共通のフラウエンハウス Frauenhaus（Frauenhaus）とよばれる女性専用シェルターでは、24時間態勢で、ドメスティックバイオレンス DV（DV）の被害を受けている女性の相談に応じ、支援をしています。相談は秘密厳守、希望により匿名でおこなわれます。男性被害者も含め、DVに関する詳細、相談窓口や電話相談の連絡先などは本ウェブサイト hallo-baselstadt.ch のドメスティックバイオレンスの項目をご覧ください。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/emergencies-and-counselling-services/emergency-numbers

相談窓口

Basel-Stadt州には種々の相談窓口があります。一般的な質問に応じるところもあれば、特定のテーマを扱うところもあります。初回相談料はほとんどの場合無料で、その後も費用がかからないところは少なくありません。また多言語で相談に応じる窓口もあります。

一般相談窓口

移民のための総合相談窓口:

- GGG Migration
GGG Migrationの職員がスイスの日常生活をめぐるさまざまなテーマに関する質問に14言語で答えます。ドイツ語コースやインテグレーションプログラムを探していますか? そんなときもGGG Migrationの職員がお手伝いします。相談は電話や面談で行いますので、事前に申し込んでください。相談は無料です。

庇護権や外国人の権利に関する情報:

- BAS Beratungsstelle
- Freiplatzaktion

その他の相談窓口:

- 一般的な相談を受けられる窓口はほかにもあります。ドイツ語以外の外国語で相談できるところもあります。
- 移民コミュニティが運営するクラブでは一般的な情報を母語で得られます。

州行政/自治体行政

州行政あるいは自治体行政など、居住地の当局がサポートできることも少なくありません。職員が質問に答えてくれたり、どの相談窓口が適しているかを教えてくれます。当局のウェブサイトには、電話番号やEメールアドレス、受付時間などの情報が載せられています。

専門相談窓口

バーゼル地方には1つのテーマに特化した相談窓口がたくさんあります。例えば、年齢、仕事、滞在、教育、結婚・離婚、子育て、家族、お金（借金・やり繰り）、健康〔DV〕、DV、インテグレーション、精神的な問題、乳児の世話、妊娠、性、依存症、社会的な問題などです。初回はほとんどが無料です〔Hallo Basel-Stadt〕。「Hallo Basel-Stadt」の各テーマに関するページに相談窓口の連絡先が掲載されています。または情報相談窓口GGG Migrationにお問い合わせください。複数の言語を話す職員が適切な相談所について説明します。

ドイツ語がまだあまり話せませんか？ その場合は、相談窓口で通訳が必要になるかもしれません。事前に窓口を確認してみましょう。ドイツ語以外の言語で相談できる窓口もあります。また窓口が通訳してくれる人を手配することもできますが、通訳してくれる人を自分で探し、同伴しなくてはならないこともあります。

人種差別

差別や人種差別を受けましたか？あるいは目撃しましたか？そんなときに相談できる窓口があります。

- 〔STOPP Rassismus〕「STOPP Rassismus」はBasel-StadtとBasel-Landschaftの両州で利用できる相談窓口です。相談は無料、秘密は厳守されます。電話相談、個人面談、オンライン相談ができます。
- 〔Netzwerk Antirassismus〕「Netzwerk Antirassismus」は人種差別や差別を受けた人をサポートします。
- 〔Stiftung GRA〕「Stiftung GRA」は反ユダヤ主義的な差別に関する相談を受けています。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/emergencies-and-counselling-services/counselling-services